

コミュニティ室で、ことし最後の講義を行ないました。

松戸市・市民部審議官の伊藤智清さんを先生にむかえ、「これからの市民自治」の話をしていただきました。

町会・自治会、市の歴史と現状などを説明したあと、地域活動チェックシートを使い、

月28日まで全区区で終了しました。

きれいになりました。団地居住者は当然のことですが、外部者の投棄も根絶したいと思えます。みなさんのご協力をお願いいたします。

今後、自治会はURと協力して、投棄がでないための対策をとっていくことにしています。URとの話し合いを持って、具体策を順次実施していきます。

粗大ゴミなどの不法な投棄によって、団地居住者のみなさんが不愉快な思いをし、不愉快な気持ちにさせられることのないように、私たち居住者の努力が求められています。

(山根)

の三つに関して、自分の考えと現状を確認しあいました。また、あいさつの大切さも強調されました。

なごやかなうちに終了し、みなさん勉強になったと好評でした。

次回は1月20日(月)中央病院の中田賢一郎院長です。

(宋戸)



いきいきサロン

ミニコンサート満席
◆いきいきサロン
いきいきサロンは、12



分からクリスマス・ミニコンサートを開きました。おなじみの吉崎さんと

なつかしのメロディーを中心に、サロンを楽しみ雰囲気につつまでくれました。
サロン室いっぱい参加者(20人余)は、さとしさんのギターと歌にみちびかれ、青春の思い出のなかに浸り、いま、そのときを満喫してくれました。
(白川)

35人が団地を回る

◆歳末パトロール

歳末恒例の団地内防犯パトロールを26日から28日の3日間、自治会事務所を拠点に行ないました。

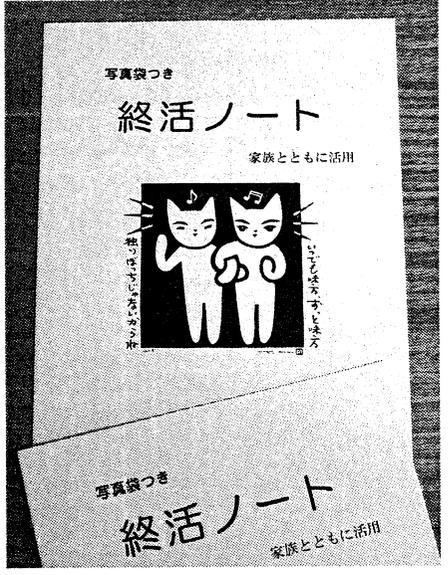
常盤平防犯協会メンバーを中心に自治会役員も参加して実施した歳末パトロールは、35人が参加し、全区区を回り、安全を呼びかけました。

初日には、松戸市副市長の織原和雄さんをはじめ来訪者多数が激励にきました。また、溝上昭俊さん(写真)が防犯功労者の表彰を受けました。

3日間を通して団地を巡回したなかで、居住者やすれちがう人たちから「ご苦労さん」との声がかけられたほか、各地の町内会メンバーのパトロールの人たちと「おつかれさま」の挨拶を交合いました。
(中島)

12月の活動日誌

- 1日 ふれあいもちつき大会
 - 2日 広報部編集割付け
 - 4日 ときわだいら校正
 - 8日 終活シンポジウム
 - 13日 運営委員会
 - 26日 防犯パトロール
 - 27日 防犯パトロール
 - 28日 自治会事務所仕事納め
- 方針:パトロール



催された「終活を考えるシンポジウム」の参加者全員に渡されました。また、同ノートの第二弾が「千葉県発行、NPO 孤独死ゼロ研究会制作」として、1月下旬ごろに発刊されることになっています。発行部数は3,000部。公言刊選

地域と専門職 協働を

どうたれ内科診療所院長 堂垂 伸治



私は常盤平地区高齢者支援連絡会専門部会で約十年活動してきました。この会では地域で困っている方々を検討し、対応や対策を考えてきています。

その成果の一つが、「一人暮らしあしん電話」です。これは現在、常盤平団地で民生児童委員の方々の協力の下、高齢者約七〇人を対象に動いています。松戸市全体では対象者は約三四〇人に達しています。

専門部会では、介護保険を使うまでもない「軽症」の方も検討します。こういう「境界の方」で無理に介護保険を使いますと、結局、国民が支払う介護保険料が高くなってしまう。現在、地域の見守り活

動は、自治会・社協・民生児童委員や相談協力員の方々により献身的に行なわれています。私はこの方々と看護・介護・福祉など専門職の双方が協働して見守り活動を行うと、より効果があると考えています。

前者は地域の実情に精通されており「住民と顔の見える関係」があります。一方、専門職は専門知識やノウハウがあり「関係諸組織と顔の見える関係」を持っています。

具体的には両者が手を携えて地域を見回りの訪問したいと考えています。これにより皆様は、より安心と安全を届けられるでしょう。皆様のご理解・ご協力、どうぞよろしくお願い申し上げます。